

看護学校自己点検・自己評価

I 学校評価の目的

学校評価は、奈良県立病院機構看護専門学校が、学校活動全般について、自己改革を行い、教育の質の向上、および学校の設置目的を達成するために行う。

学校評価は、教育機関としての機能を包括的に判定する「学校運営評価」と、学生及び教員による教育方法と内容の評価である「授業評価」と、在校生の「学生満足度」からなっている。

II 学校運営評価

「学校運営評価項目」は東京都立看護専門学校の項目を参考に作成した。専任教員 13 名に、より質の高い魅力ある学校づくりを目的に実施した。評価項目は「I 学校経営」「II 教育課程・教育活動」「III 入学・卒業対策」「IV 学生生活への支援」「V 管理運営・財政」「VI 施設設備」「VII 教職員の育成」「VIII 広報」「IX 地域との連携」とし、評価基準は、非常にあてはまる：4、かなり当てはまる：3、あまり当てはまらない：2、まったく当てはまらない：1 の 4 段階とした。

結果は、総平均が、2.6 であった。評価の高い分野は、「III 入学・卒業対策」が 3.1、「V 管理運営・財形」が 2.9、「IV 学生生活への支援」「VI 施設設備」「VIII 広報」が 2.8 であった。一方、低い評価だったのは、「VII 教職員への育成」「IX 地域との連携」であり 2.2 であった（図 1）。

高評価の「III 入学・卒業対策」では、卒業生の法人への就職（73%）をはじめ、全員の進路が決まったこと、1 年次より国試対策に取り組み、第 107 回看護師国家試験は 100% の合格率であったことが、高得点となったと考える。

低評価となった「VII 教職員への育成」は 29 年 4 月に奈良校・三室校が統合し新たな学校の教職員の協働に努めた。今後はお互いに切磋琢磨し共に成長していきたい。「IX 地域との連携」は、「ふれあい祭り」や「災害訓練」などを通して交流を図っているが、十分とは言えない。地域住民との交流の充実が今後の課題と考える。

各項目から「I 学校経営」では、「目標を策定されている」の項目が高得点であり教員は学校のビジョンを実現するように努めているのがわかった。「II 教育課程・教育活動」の高い得点の項目は、「実習において患者等の同意を得た上で実施をしている」であり、各々の教員が倫理的配慮を重視していることがわかった。「III 入学・卒業対策」では、「より多くの応募者を確保することに務めている」の項目が高く、オープンキャンパスや高校説明会の効果であり、今後も続けていきたい。「IV 学生生活への支援」の高得点は、「学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じている」であり、教員も学生一人一人の相談に寄り添うように努力をしているところである。今後も教職員の力を合わせ、学生一人一人を大切に育てていきたいと考える。



III 授業評価 (講義)

「授業評価項目」は、学生による授業評価を行い、評価結果に基づいて授業内容の改善を図る目的で、最終授業後にアンケート調査を行った。評価は、非常にあてはまる：4、かなり当てはまる：3、あまり当てはまらない：2、まったく当てはまらない：1の4段階とした。(表1)

注目すべき項目は「⑩この授業のために予習・復習を十分に行いましたか」が3.0である。学生の積極的に学習に取り組む姿勢が見られた。今後も、学生のモチベーションを高めて、積極的に学習に取り組めるよう支援していきたい。

評価が高い項目は「⑫この授業から新しい知識・考え方や技術・技能を得られましたか」「⑭あなたはこの授業を受講して良かったと思いますか」が3.4であった。学生の授業に対する満足感が高い。この満足感を、学ぶことの楽しさにつなげて、主体的に知識を深めて欲しい。

表 1 授業アンケート結果

①この授業全体の意義や目的が理解できるようにしめされましたか	②毎回の授業で具体的な目標が理解できるようにしめされましたか	③シラバスは、学習を進める上でやくだちましたか	④授業の進度についていけましたか	⑤教員の話し方は明瞭で聞きやすかったですか	⑥板書や機器を用いた説明の仕方はわかりやすかったですか	⑦補助教材(教科書 プリント ビデオ等)はわかりやすかったですか	⑧質問や意見を述べる機会がありましたか	⑨あなたはこの授業の内容をよく理解できましたか	⑩この授業のために予習 復習を十分に行いましたか	⑪あなたはこの授業に意欲的にとりくみましたか	⑫この授業から新しい知識 考え方や技術 技能を得られましたか	⑬この授業に関する分野への興味や関心が強くなりましたか	⑭あなたはこの授業を受講して良かったと思いますか
3. 3	3. 2	3. 0	3. 2	3. 2	3. 2	3. 2	3. 2	3. 2	3. 0	3. 3	3. 4	3. 3	3. 4

IV. 学生満足度

「学生満足度」は、よりよい学校づくりの基礎資料とするためアンケート調査を実施した。評価基準は、非常にあてはまる：4、かなり当てはまる：3、あまり当てはまらない：2、まったく当てはまらない：1の4段階とした。3月1日にアンケート用紙を在校生 219名に配布し、有効回答数は 201名（91.7%）であった。

1) 本校への入学を決めた理由について（1年次生のみ）

「めざす免許が取得出来そうだから」「学費が安いから」が多かった。「国家試験の合格率が高いから」も理由になっているため、引き続き結果が残せるように努力していきたい。

2) 授業について

11項目の平均は 2.7 であった。項目別では「専門的な知識が身につく授業が多い」が 3.3 と高かった。低かった項目としては「国際性が身につく授業が多い」が 1.8 であった。本校は国際的視野を身につけることも目標としているため、英会話サークル活動を実施している。今後も国際性を育んでいける様に取り組みたい。

3) カリキュラムについて

満足度は 3.0 と高い。「臨地実習は学ぶ事が多い」が 3.6 であり高かった。看護は臨地実習での学びが大きく、満足度も高いので、学校と実習施設が連携し、より充実した学習ができるよう体制を整えていきたい。

4) 教員について

全体の満足度は 2.7 であり、「教育や指導に熱意をもっている教員が多い」「授業中、学

生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い」が 3.0 と学生の満足度は高かった。

5) 学生支援システムや各種サポートについて

学生の満足度は最も低い項目であった。「心の健康管理のための相談室が利用しやすい」が 2.2 であった。相談室には臨床心理士 2 名担当しているので、今後はおおいに利用されるよう努めていきたい。

6) 学生生活全般について

「校内の美化が行き届いている」が 3.2 であり満足度は高かった。「図書室は学習しやすい環境である」3.1 であり、学習環境の改善に繋がっている。

7) 進路・就職サポートについて

全般的に満足度は 2.7 であった。「国家試験対策のための指導は充実している」が 2.9 であり評価は高かった。国家試験対策に対して各学年の学生の満足度も高く、モチベーションの維持に繋がっていると考ええる。

8) その他

「一人一人の学生を大切にしている」が 2.5 であった。1 学年 80 名になり、一人一人にあった教育は時間的にもマンパワーにも課題はあるが、学生一人一人と向き合いながら共に成長できる学校を目指していきたい。